資料２

第２期

桐生市まち・ひと・しごと創生

総合戦略（案）

桐　生　市

はじめに

国の「総合戦略」及び「人口ビジョン」の改訂版を踏まえ、内容を作成

施策の体系

基本目標　1　地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

施策の方向性	施　策
(1)しごと環境の創出	1．計画的な工業団地の整備
	2．企業誘致活動の推進
	3．雇用の確保と安定化
	4．創業・事業承継の促進
	5．魅力ある商店づくり
(2)地域産業の活性化	1．市内企業の成長支援
	2．商品開発・販路開拓の支援
(3)農林業の活性化	1．農業の担い手の育成・確保
	2．魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化
	3．林業後継者の育成
	4．林業振興と林業生産基盤の整備

基本目標　2　人口の市外流出に歯止めをかけ、移住･定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

施策の方向性	施　策
(1)シティブランディングの推進	1．理念・方針等の周知啓発
	2．推進体制の整備・活動支援
(2)移住・定住の促進	1．移住・定住の促進
(3)観光の振興	1．観光客誘致活動の推進
	2．観光拠点機能の充実

基本目標　3　安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

施策の方向性	施　策
(1)結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実	1．結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援
(2)安心して子育てができる環境整備	1．子育て支援サービスの充実
	2．青少年保護活動の充実
(3)特色ある教育の充実	1．桐生ならではの特色ある教育の充実
	2．学校・地域との連携の推進
(4)教育研究・相談機能の充実	1．教育研究・研修の充実
	2．教育相談の充実

基本目標　4　広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

施策の方向性	施　策
(1)安全・安心で住みやすい環境づくり	1．地域防災力の向上
	2．地域包括ケアの推進
	3．介護予防・重度化防止の推進
	4．生活習慣病予防の推進
	5．生活習慣病の重症化予防
(2)将来を見据えた計画的なまちづくり	1．持続可能な都市の形成
	2．中心市街地活性化の推進
	3．歴史まちづくりの整備
	4．歴史的風致を活用したまちづくりの推進
	5．温暖化対策の推進
	6．スポーツ施設の充実
	7．公共施設マネジメントの運営
	8．用途廃止後の施設の有効活用
(3)地域連携の推進と交通基盤の整備	1．地域連携の推進
	2．北関東自動車道へのアクセス道路の整備
	3．幹線道路の整備
	4．鉄道利用の促進
	5．バス交通網の充実

基本目標１　地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

数値目標	2018 年度基準値	2024 年度目標値
有効求人倍率	1.24 （2019 年 3 月）	1.00 以上を維持
基本的方向		
魅力ある雇用を創出し、「しごと」と「ひと」の好循環を確立するため、企業誘致を推進するとともに、既存企業の成長を支援します。 また、創業や事業承継につながる取組を推進するとともに、豊かな自然環境や地域固有の資源を生かした農林業振興を図ります。		

（1）しごと環境の創出

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①工業団地での雇用者数 ②創業者創出数	①－ ②27 人	①320 人 ②40 人

施策名	取組内容
１．計画的な工業団地の整備	①新規企業の誘致と市内企業の流出防止のため、企業ニーズに適合した新たな工業団地の整備について研究します。
２．企業誘致活動の推進	①雇用機会の確保や地域経済の活性化を図るため、首都圏を中心とした企業訪問などを行い、新たな企業を誘致します。 ②企業の機能強化に向けた工場の新増設を促進します。
３．雇用の確保と安定化	①桐生公共職業安定所や桐生地区勤労対策協議会等の関係機関や関係団体と連携し、求人企業と求職者が円滑にマッチングされるよう、求人情報を広く周知するとともに、雇用確保の機会創出に向けた取組を推進します。 ②勤労者の資質向上と雇用の安定を図るため、事業所等で実施する研修を支援します。
４．創業・事業承継の促進	①創業支援等事業計画に基づく関係機関との連携の下、創業支援、創業後のサポートを行います。 ②桐生商工会議所及び桐生信用金庫との包括的連携・協力に関する協定に基づき、円滑な事業承継を推進します。
５．魅力ある商店づくり	①商工会議所、商工会、商店街振興組合等の関係機関と連携し、商店街の魅力を向上する取組や空き店舗等を活用した新たな店舗の開設を支援します。

（2）地域産業の活性化

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①従業者 1 人当たり製造品出荷額 ②展示会等出展に伴う商談成約件数	①2,583 万円 ②114 件	①2,900 万円 ②140 件

施策名	取組内容
1．市内企業の成長支援	①企業の業容拡大に向けた設備投資を支援します。 ②国内外での新たな販路を開拓するため、展示会等への出展を支援します。 ③産学官連携の下、新製品・新技術開発を図る企業を支援します。 ④「ものづくりのまち桐生」の卓越した技術や製品を広くＰＲします。
2．商品開発・販路開拓の支援 ※桐生市第 6 次総合計画「伝統産業の保護・育成」に位置付け	①繊維産地「桐生」の総合的な技術を生かした伝統産業の商品開発や販路開拓を支援します。

（3）農林業の活性化

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①認定農業者数 ②林業従事者数	①117 経営体 ②68 人	①123 経営体 ②68 人

施策名	取組内容
1．農業の担い手の育成・確保	①認定農業者を中心とした農業経営者の育成・確保を図ります。 ②農業後継者、新規就農者を支援し、農業の担い手の育成・確保を図ります。 ③経営体の法人化や組織化に向けた取組を支援します。
2．魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化	①生産振興、高品質化・低コスト化の推進を図ります。 ②農産物のブランド化、高付加価値化、6 次産業化に向けた取り組みを支援します。
3．林業後継者の育成	①林業後継者の育成を支援するとともに、就業環境の改善を図ります。
4．林業振興と林業生産基盤の整備	①群馬県や森林組合等と連携し、流通販売拠点である複合木材市場「桐生木材ヤード」を活用した取組を推進します。 ②森林環境の整備や林業施業の効率化を図るため、高性能林業機械の導入や林道・作業道等の整備を支援します。

基本目標２　人口の市外流出に歯止めをかけ、移住･定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

数値目標	2018 年度基準値	2024 年度目標値
社会増減数	394 人減	270 人減
基本的方向		
恒常的に続く若年層の流出に歯止めをかけるため、桐生がより多くの人から選ばれるまちになることを目指し、まちの価値を高めるシティブランディングを推進するとともに、桐生での暮らしを応援する様々な施策を講じます。 また、交流人口や関係人口の拡大による市内経済の活性化を目指し、本市の自然、文化、歴史、産業等の多様な観光資源を活用した観光施策を推進します。		

（１）シティブランディングの推進

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
人口総数に対する転出者の割合	3.02%	2.50%

施策名	取組内容
１．理念・方針等の周知啓発	①市民の間にシティブランディングの取組を広く普及させるため、シティブランディング戦略の理念・方針等の周知・啓発を行います。
２．推進体制の整備・活動支援	①具体的事業の企画立案や情報共有等を行う場を整備するとともに、情報発信体制を構築します。

（２）移住・定住の促進

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
① 移住・定住相談件数 ② 空き家・空き地バンク成約件数	① 172 件 ② 44 件	① 172 件 ② 44 件

施策名	取組内容
１．移住・定住の促進	①移住・定住を促進するため、桐生での暮らしを応援する様々な取組を推進します。 ②移住を考える人の希望に応じたマッチングを図るため、空き家・空き地バンクや相談体制の充実を図ります。

	③首都圏で開催される移住相談会をはじめ、メディアを活用するなど、様々な方策できりゅう暮らしの魅力を発信します。

（3）観光の振興

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①観光入込客数	① 4,078,400 人（2017 年度）	① 4,273,000 人
②観光消費額	② 4,849,234 千円（2017 年度）	② 5,406,434 千円

施策名	取組内容
１．観光客誘致活動の推進	①新たな観光資源の発掘と既存資源の魅力向上を図りながら、日本遺産や絹遺産などの歴史的文化資産を活用したヘリテージツーリズムや産業観光、近隣市と連携した広域周遊観光を推進します。 ②訪日観光客の誘致に向け、観光ＰＲを強化するとともに、多言語に対応したまち歩き観光ガイドやの充実を図るなど、インバウンド対策を推進します。
２．観光拠点機能の充実	①（仮称）桐生市観光情報センターを観光まちづくりの拠点とし、情報収集や情報発信機能を強化するとともに、市民が主体の観光まちづくりを推進します。 ②ＤＭＯの視点に立った「観光事業による稼ぐ力を創造する」取組や体制づくりを研究します。 ③観光施設の魅力向上を図ります。

基本目標３　安心して結婚･妊娠･出産･子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

数値目標	2018 年度基準値	2024 年度目標値
合計特殊出生率	1.13 (2017 年度)	1.51
基本的方向		
少子化の流れに歯止めをかけるため、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を充実するとともに、安心して子育てができる環境を整備します。 また、桐生を好きな心豊かな子どもを育成するため、感性を育む特色ある教育の充実を図るとともに、学力向上や生徒指導等における教育課題の解決につながる教育研究を推進します。		

（１）結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①市が支援する婚活イベント等におけるカップル成立数 ②産後１か月頃のＥＰＤＳ※９点以上の母親の割合 ※ＥＰＤＳ：エジンバラ産後うつ病質問票のことで、うつなのか不安なのかを評価するもの	①27 組 ②3.6％	①33 組 ②　↓

施策名	取組内容
１．結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援	①婚活支援を行っている団体との連携を図りながら、結婚したい人の希望をかなえるための取組を推進します。 ②育児不安の軽減や産後うつ、虐待予防を図るため、妊娠・出産・育児の各段階に応じたきめ細かな支援を推進します。 ③母子の健康が確保されるよう、相談や訪問、健診等により妊娠期から子育て期における支援体制の更なる充実を図ります。 ④子育て世代等の負担軽減につながる施策を推進します。

（2）安心して子育てができる環境整備

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①育児が楽しいと思える母親の割合（1 歳児を持つ母親） ②ネット見守り活動委員会会員数	①90.0％ ②275 人	①　↑ ②315 人

施策名	取組内容
１．子育て支援サービスの充実	①ニーズに応じた幼稚園、保育園、認定こども園の定員数を確保するとともに、質の高い教育・保育を実施します。 ②多様化するニーズに対応する子育て支援サービスの展開を図ります。 ③母親が楽しく育児ができるように食育指導や仲間づくりの機会の提供、関係機関・団体との連携強化を図ります。
２．青少年保護活動の充実	①SNS 等のインターネット上でのいじめやトラブルから青少年を守るため、ネット見守り活動を強化します。

（3）特色ある教育の充実

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①「特色ある教育活動」が行われていると感じる保護者等の割合 ②児童・生徒の授業に対する満足度 ③放課後子供教室の設置数	①87.0％ ②86.0％ ③2 か所	①　↑ ②　↑ ③17 か所

施策名	取組内容
１．桐生ならではの特色ある教育の充実	①自然・歴史・文化・人材など地域の教育資源を活かした、桐生ならではの教育活動の充実を図り、「桐生を好きな子供」の育成を目指します。 ②群馬大学と連携した事業等の拡充を図り、幼・小・中の一貫した教育プログラムの創出を目指します。 ③黒保根町の特色ある教育として、これまで行ってきた国際理解教育のさらなる充実を図ります。
２．学校・地域との連携の推進	①学校・地域との連携により、各小学校区において放課後子供教室を設置し、地域における子育て環境の充実を図ります。 ②産・学・官・民の連携により、子どもに発見の喜びと感動を提供し、世界をリードする人材の育成と、未来社会構築を視野に入れた教育プログラムを実践している未来創生塾を引き続き支援するほか、未来創生塾のプログラムの一部を小学校で実施するなど、より多くの子どもに体験学習を提供する取り組みを推進します。

（4）教育研究・相談機能の充実

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
教職員を対象とした各種研修講座の満足度	－	↑

施策名	取組内容
１．教育研究・研修の充実	①調査・研究体制の充実を図り、学力向上や生徒指導等における課題解決に向けた研究を推進します。 ②より多くの教職員が専門的知識・技能を高められるよう研修講座の充実や群馬大学との連携を図ります。 ③学力向上や生徒指導等における教育課題の解決のため、教育研究所等の既存教育施設の機能を集約した総合教育センターを開設し、教育基盤の充実を図ります。
２．教育相談の充実	①教職員の教育相談技術の向上を図ります。 ②幅広い分野の教育相談機能の更なる充実を図るため、総合教育センターを開設し、教育相談に対する相談窓口のワンストップ化を図ります。

基本目標４　広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

数値目標	2018 年度基準値	2024 年度目標値
「桐生市は住み続けたくなる生活の場としての住環境が整っている。」についての市民実感度	26.2% (2019 年度)	↑

基本的方向

「しごと」と「ひと」の好循環を支える「まち」の活性化を図るため、誰もが活躍でき、安全・安心に暮らすことのできる環境づくりを進めるとともに、コンパクトシティや歴史まちづくりなど、本市の特徴に応じたまちづくりを進めます。

また、広域的な視点で様々な分野において地域連携を推進し、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進めます。

（１）安全・安心で住みやすい環境づくり

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①出前講座、講演会参加者数	①400 人	①520 人
②認知症サポーター数	②14,545 人	②20,500 人
③介護予防教室参加者数	③463 人	③500 人
④健康寿命（男性）	④78.10 歳（2016 年度）	④　↑
⑤健康寿命（女性）	⑤82.05 歳（2016 年度）	⑤　↑

施策名	取組内容
１．地域防災力の向上	①出前講座や防災講演会等の活用による地域防災意識の啓発を図り、自主防災組織などの地域防災体制を構築します。 ②防災に関する専門家の指導を仰ぎながら、地域住民と連携し、土砂災害対象地域における避難計画を更新するとともに、洪水時の自主避難計画、地区防災計画などの策定について研究します。
２．地域包括ケアの推進	①地域包括支援センターの相談機能等を強化し、個々の高齢者のニーズに応じた支援体制の充実を図ります。 ②生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置などを通じて地域課題の的確な把握と新たな担い手やサービスの創出を図ります。 ③在宅医療介護連携センターきりゅうを中核とする医療・介護の連携ネットワークの強化を図ります。 ④認知症地域支援推進員を中心とする地域のネットワークの強化、認知症初期集中支援チームの機能強化などを通じて、認知症の人を地域全体で見守り、支えるしくみの確立を図ります。

３．介護予防・重度化防止の推進	①生き生き市役所出前講座や介護予防教室などを通じて、介護予防の普及促進を図ります。 ②地域における介護予防の普及促進の担い手として介護予防サポーターを養成するとともに、介護予防を目的とする集いの場の充実を図ります。 ③介護予防・重度化防止の視点から、多様な主体による介護予防・生活支援サービスの充実を図ります。
４．生活習慣病予防の推進	①各種がん検診、特定健康診査などの周知と受診しやすい環境整備を行い、受診率の向上を図ります。 ②市民の健診結果等のデータを分析することにより、健康課題を把握し健康管理のための施策に反映します。
５．生活習慣病の重症化予防	①生活習慣に起因する、糖尿病、高血圧などの生活習慣病の重症化予防に取り組みます。 ②糖尿病性腎臓病予防プログラムに基づく、重症化予防対策を推進します。

（２）将来を見据えた計画的なまちづくり

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①中心市街地の空き店舗率 ②歴史的風致形成建造物の指定件数 ③市の事務・事業から排出される温室効果ガス排出量 ④公共施設等総合管理計画の類型別に策定する個別計画策定数※ ※桐生市公共施設等総合管理計画の着実な推進を図るため、各施設の管理の方向性を 23 の類型ごとに示す計画	①19.0％ ②3 件 ③34,197t-CO2 ④0 計画	①18.0％ ②18 件 ③32,130 t-CO2 ④23 計画

施策名	取組内容
１．持続可能な都市の形成	①桐生市コンパクトシティ計画に基づき、市街地に都市機能と居住を誘導する施策を総合的に推進します。
２．中心市街地活性化の推進	①中心市街地の空き店舗等を活用し、リノベーションを進める民間団体との連携を図りながら、中心市街地活性化を推進します。 ②商店街の活性化に向けた商店街団体等の自主的な活動を支援します。 ③商工会議所や商店連盟協同組合などの関係者をはじめ、様々な分野の方々との意見交換の場を設け、中心市街地再生に向けた方向性について検討します。
３．歴史まちづくりの整備	①歴史的風致維持向上計画に基づき、市民の歴史まちづくりに対する意識の向上を図るとともに、歴史的風致形成建造物の指定や重要伝統的建造物群保存地区及びその周辺の環境整備を推進します。

４．歴史的風致を活用したまちづくりの推進	①重要伝統的建造物群保存地区の歴史的な環境を適切に継承していくため、伝統的建造物の保存修理を支援するとともに、防災対策に取り組みます。 ②重要伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物を活用し、地域の活動拠点となる施設を整備します。
５．温暖化対策の推進	①環境先進都市の実現に向け、桐生市環境先進都市将来構想に基づく取組を推進します。 ②国の動向等に注視しながら、新エネルギーの導入及び省エネルギー活動を推進し、環境と調和した低炭素型のまちづくりを目指します。
６．スポーツ施設の充実	①スポーツを振興し、市民の健康増進を図るため、老朽化したスポーツ施設を計画的に整備します。
７．公共施設マネジメントの運営	①人口減少と財政的制約の下、施設の老朽化という課題に対応しつつ、一定の公共サービスの質を維持するため、公共施設等総合管理計画に基づき、総合的かつ計画的な公共施設のマネジメントを推進します。
８．用途廃止後の施設の有効活用	①用途廃止した学校や市営住宅等の有効活用を図るため跡利用をまちづくりの観点から検討します。

（３）地域連携の推進と交通基盤の整備

KPI（重要業績評価指標）	2018 年度基準値	2024 年度目標値
①市民サービスの向上等に資する広域連携事業数	①59 事業（2017 年度）	①69 事業
②都市計画道路の整備率	②47.2%	②47.8%
③市内 17 駅 1 日平均乗降者数	③14,673 人	③14,800 人
④人口 1 人当たりバス交通利用回数	④3.55 回	④3.55 回

施策名	取組内容
１．地域連携の推進	①両毛広域都市圏内市町と緊密な連携を図りながら、効率的で機能的な広域行政を展開します。 ②市民サービスの維持・向上を図るため、広域的視点に立った新たな都市間連携を推進します。
２．北関東自動車道へのアクセス道路の整備	①群馬県と連携し、桐生伊勢崎線、渡良瀬幹線道路、太田桐生線バイパスの早期完成に向けた取組を推進します。
３．幹線道路の整備	①広域アクセス機能を強化するとともに、交通渋滞を解消し、利便性を向上するため、本町線、赤岩線、幸橋線、錦琴平線等の幹線道路を整備します。 ②ゆとりある歩行者空間の整備と街路樹やグリーンベルトの整備を進め、沿道空間との一体性に配慮した良好な景観の創出を図ります。
４．鉄道利用の促進	①市内 4 鉄道の沿線自治体・鉄道事業者・市民がそれぞれ連携し、啓発活動を行うことにより、マイレール意識の醸成を図ります。

	②鉄道事業者と連携し、駅及び周辺施設のバリアフリー化やパーク・アンド・ライド用の駐車場等を整備します。 ③上毛電気鉄道とわたらせ渓谷鐵道の経営安定に向け適切な支援を行います。
5．バス交通網の充実	①将来を見据え持続可能な公共交通体系の構築を目指し、地域特性や利用者ニーズに対応したバス交通システムの確立を進めるとともに、受益者負担の明確化などにより運営の健全化を図ります。 ②路線バスを補完する新たな移動手段の導入など、市民の移動手段の確保に向けた方向性について検討します。